

I. 平成30年度の実績

グループ名称	くいきと暮らしの研究会九州支部			
H30採択グループ番号	07	—	0602	— 0712

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	「くいきと暮らしの研究会九州支部」は2016年依頼、室内空気環境の健全性をテーマに福岡県、長崎県、宮崎県の優良な工務店を中心により良い地域型住宅と各地域に暮らしに合った住宅を提供してきました。私達は九州の各自然環境に添い、地域の生活に合ったより良い住宅及び消費者の為の得策を提案する為に知識技術の向上をテーマに研修会を実施してきました。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/04/24	名称	くいきと暮らしの研究会九州支部平成30年度地域型グリーン化事業研修会 ●		
	内容	私達のグループは「ダイキン工業」主催で住宅の空気環境を中心に、地域型住宅の仕様、グループの方向性の説明を行い、研修会のスケジュール、地域材の受発注のフロー等を行った。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/06/14	名称	HVAC展セミナー ●		
	内容	ダイキン工業主催のセミナーの中で工務店、消費者を対象にした中で国策であるグリーン化事業の概要とZEH住宅の説明を行った。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/03	名称	グリーン化事業研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/04/24	名称	グリーン化申請内容研修	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店に、事務局員がサポートにつき地域住宅の提案から設計、申請手続きの助けを行い、常に質疑返答が出来るように事務局員のレベルアップも図った。						
取組み ②	サポートの有無 2	有						
	内容	未経験工務店は省エネ住宅やゼロエネ住宅の施工が難しく敬遠しがちになるため、個別に省エネ住宅の必然性や施工方法などの設計、申請などの勉強会を行った。						
取組み ③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0	
② 住宅履歴情報の保管先		機関名			

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無						
内容							
② H30年度における施工構成員の廃業	無						
対応内容							

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有						
内容	研修会時及び認定住宅の補助金活用時に「長期優良住宅の省エネ基準」「低炭素住宅の1次エネルギー基準」等を工務店に分かりやすく説明し、国の基準を提示し住宅の構造計画再認識をってもらう活動をしている。						
省エネ化に対する取組 ②							
内容							
BELS工務店の登録数	8 社						

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	くまもと暮らしの研究会九州支部			
H30採択グループ番号	07	—	0602	— 0712

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/17	名称	くまもと暮らしの研究会平成31年度事業説明会		
	内容	平成31年度の取組みに関して、共通ルール、研究会の実施計画、申請方法、平成30年度との違い、平成30年度のグループ内の補助金活用実績、新設の省エネ改修型の説明等についての説明会を実施する。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/11/10	名称	九州のくまもと価値住宅づくり説明会		
	内容	各構成員のお客様や地域の消費者の方を対象にダイキンHVACソリューション九州㈱の会議室を使い「くまもと価値住宅づくり説明会」を開催する。説明会内容は地域型グリーン化事業の概要、補助金と家づくり、省エネ住宅の必要性などグリーン化事業の内容に沿った説明会を行う予定						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/07	名称	認定建築研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/04	名称	省エネ建築研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	経験工務店の事業活用手法を資料化し、未経験工務店に提供、説明機会(研修時、出張説明)に分けて行う。研修時において経験工務店からの直接説明を積極的に行う						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	グループ事務局が個別に未経験工務店を訪問し、設計、申請等の相談を受け、更に各物件の精査を行う						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	グループ	機関名	
------------	------	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	廃業時に施工途中や設計打合せ中のお客様等はダイキンHVACのバックアップを得て、事務局からグループ内の施工事業者を消費者に紹介を行う						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	認定住宅の補助金活用される消費者に、工務店からの依頼に応じて断熱基準、1次エネルギー基準の解説と説明を行う。今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して受講を推奨する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	リフォーム工事の受注時のヒートショック対策としての断熱性能の確保や住設機器の効率化等を指導、長期優良住宅化リフォーム推進事業の活用による、住宅性能の促進を研修時提案を行う。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/16				
内容	省エネ改修型に関する内容が公開されたのちグループ全体を対象に研修会を行う。						
研修計画 ②	有	実施日	2019/10/17				
内容	グループ内の各工務店へ事務局から個別訪問し、省エネ改修型の詳細を説明する。						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	くいき暮らしの研究会九州支部				
H30採択グループ番号	07	—	0602	—	0712

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>私達の地域型住宅の名称「九州のくいき(空気)価値住宅」は、室内環境に重要性和価値を持つ住宅を目指し活動しています。中国に近く、木材の産地と居住地が近接する九州の特性上PM2.5の問題や杉、桧の花粉症対策や従来からの課題であるVOCの問題等、影響を受ける居住者は多く、室内環境のクリーン度は重要な住宅環境の課題となっています。九州の地域風土に調和した木造住宅の素材である杉、桧へのアレルギー意識を解決するためにも、提案する住宅は室内空気質の継続的安全性を作り出す「換気、通気、除塵と素材管理機能」を持つ住宅を提案して行きたいと考えてます。</p>
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	主要構造材(柱、土台、梁桁)に、「合法木材」を使用する。使用する合法木材については、九州の事業者による合法木材の積極的な利用を推奨するが、材料の寸法、又は、強度面等を考慮して、国内・国外の合法木材の使用も可能とし、柔軟に対応する[使用割合]主要構造材の50%以上「地域材利用の1棟当たりの割合」について、対象は、主要構造材(柱、土台、梁桁)とする		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	H28、H29、H30年度の地域材需要実績に基づく1棟当たりの平均需要予測を算出しグループとして必要数在庫として押さえる。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	給湯器・トイレ・キッチン・UBなどの住設機器を3パターンほどの推奨建材としてまとめ九州地域住宅の標準仕様として提案。建材メーカーへの協力要請でコスト削減に取組む	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の地域材、在庫状況を月次毎に事務局が把握し、施工グループ各社に定期連絡として配信	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	共通施工基準書に基づく施工の実施、省エネ施工に関しては省エネルギー技術講習会の施工講習を受講し、施工技術の共通化を図る	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の維持管理計画書を作成し引越時に、内容説明を行い提出的点検時期が来ると事務局より施工事業者へ定期点検実施の告知(システムを介した自動告知)を行う。施工事業者は、点検完了後住宅履歴情報登録を行い事務局へ報告する	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループとして施工中、引越し前の2回の点検検査を行い、九州の地域住宅の施工品質の確保に取り組む	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通書式を使い「一式見積りの禁止」「消費者に分かりやすい用語の使用」「見積り説明資料の添付」を共通取組みとする。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に各構成員の事業所では週休2日を採用している(一部隔週2日がある)
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	現在、キャリアアップに関する学習会を計画し、対応の検討に入った
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に各事業者が加入している
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	グループ全体で安全講習に関する取組み研修を実施予定

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	くいき暮らしの研究会九州支部			
H30採択グループ番号	07	—	0602	— 0712

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1住戸に対して最低1部屋の和室の居室の配置を義務づけている
② 和瓦の活用	有	内容	九州地域住宅の基本提案仕様として和瓦の提案を推奨する
③ 襖・障子の活用	有	内容	省エネ遮断障子紙などを積極的に取り入れ、板の戸に比べて断熱効果があり、部屋を温め安く冷ましやすい襖の利点を消費者に説明推奨する
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	九州には伝統的な和紙の名産地が多数あり、その特徴や断熱にすぐれた性能、視覚的な美しさ又は天然素材で自然の感性を取り上げ、消費者提案を行っている。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	研修会時に、施工関係者のもつ伝統的なデザインや継承技術を資料化し、共有する仕組みを作る計画である。又、施主が持つ地域伝統のデザインの感覚を育成するために住文化様式を提示、提案をしている。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	グループ代表者の主催する研修会において住生活全般に関した専門職による学習会を検討中
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	研修の際に伝統的なデザインへの取組みだけでなく、外構を含めた建築予定地の街並みに対する配慮も研修内容とする

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	特になし		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	福岡は地震、豪雨共に過去、甚大な被害を被っている。全国木造建設事業協会に供する工務店として災害時における復旧・復興、応急仮設木造住宅建設に関する事業等に関わっている。災害時は各社が被害調査を行い、補修計画の提案を行う事としている。		